

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-10-03
事務事業名	雨水施設整備事業		
	平成元年度～平成28年度	根拠法令・要綱等	下水道法
事業開始年度	平成元年度～平成28年度		
総合計画	大項目	基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	下水道
	問合せ先	担当課(室)	下水道課
	職・氏名	工務係長 藤森 亨	
	電話	0869-66-9702	

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	吉永排水区内(115ha)全ての住民・家屋等
目的(何のために)	近年の台風災害による浸水被害を解消すべく、雨水整備を図る。
行政活動(どのような方法で)	年次的な計画により整備面積を推進。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	浸水家屋を全て解消。

事業の実績							
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	水路延長		m	580	413	444	
	実施設計		件	1	1	1	
	雨水ポンプ場工事等		施設	1	1	1	
	事業費	直接事業費		千円	135,852	245,668	537,022
		人件費		千円	6,450	11,800	10,057
		事業費計			142,302	257,468	547,079
	財源	国県支出金		千円	31,990	104,010	260,750
受益者負担		千円	10,351				
市債			85,100	124,100	273,900		
一般財源			14,861	29,358	12,429		
必要人員		人	0.75	1.60	1.50		
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	結果指標量		m	580	413	444	
	対前年比		%	-	71.2%	107.5%	
	活動コスト		円	134,658,500	81,718,808	79,074,434	
	単位当たりコスト		円	232,170	197,866	178,096	
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	結果指標量		施設	1	1	1	
	対前年比		%	-	100.0%	100.0%	
	活動コスト		円	7,643,500	175,749,565	468,004,244	
	単位当たりコスト		円	7,643,500	175,749,565	468,004,244	

事業の成果			
成果指標名	整備率	式又は説明	累積供用整備面積/認可整備面積 * 100 (80.6ha/115ha * 100)
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	67.20	68.43	70.09
対前年比		101.83%	102.43%
到達目標値	100	到達目標年度	平成28年度

事業の目的、対象、内容を考えて目的・意図の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	B
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
対象	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	経済的な問題等が一番の弊害となってくるが計画の円滑な推進を目指し、1年でも早く事業完了に努める。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	効率性評価<A~E>	B
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい		
手	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
職	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	有効性評価<A~E>	B
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	今後の整備に対し、最も適した工法などを確認し、コスト縮減に努める。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
		整備率は毎年向上しており、全ての浸水家屋を解消すべく、整備を進めている。	

平成20年度の状況		説明	前年度より継続し、雨水管渠整備を進め、今年度中に雨水ポンプ場が供用する予定である。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	400m	結果指標量	
成果指標量		結果指標量	82.0%

総合評価		評価区分<A~E>	B
近年の異常気象の増加に伴う被害を解消するため、継続的に雨水管渠整備を推進して行く。雨水ポンプ場が今年度供用の予定であり、浸水解消が期待できる。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	現状のまま整備箇所を施工し、安全性及び品質を保ち、より安価な工法を確認しコスト縮減に努める。	平成20年度～	コスト縮減